

令和4年 畑作・野菜 病害虫発生情報 第14号

作物名：じゃがいも（7月中旬）

アブラムシ類、オオニジュウヤホシテントウの発生が多い状況です。
疫病は少ない状況ですが、濃霧や曇雨天の日が続くと感染し、その後、急激に拡大まん延するので、病斑を見つけしだい薬剤散布を徹底し、散布遅れにならないようにしましょう。

1. 疫病（発生量 少ない）

疫病の初発は6月30日に確認されている。7月3半旬における発生地点率、発病株率及び発病度のいずれも平年より低かったが、一部地域では多発生ほ場が確認されている。

巡回調査における疫病の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	平均	
				甚	多	中	少		発病株率（%）	発病度
7月中旬	県南	本年	20	0	5.0	0	5.0	10.0	4.7	2.8
		前年	22	0	0	0	22.7	22.7	4.3	1.6
		平年	18	4.4	2.1	7.7	37.5	51.6	25.9	11.0

注）発生程度：甚 発病度76以上、多 同51～75、中 同26～50、少 同1～25。

2. アブラムシ類（発生量 やや多い）

発生地点率及び寄生株率は平年よりやや低かったが、寄生度は平年よりやや高かった。
なお、発生種はワタアブラムシが主体である。

巡回調査におけるアブラムシ類の発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	平均	
				甚	多	中	少		寄生率（%）	寄生度
7月中旬	県南	本年	20	0	0	20.0	30.0	50.0	29.5	14.2
		前年	22	0	9.1	4.5	59.1	72.7	27.3	12.1
		平年	18	0	1.4	5.6	55.6	62.6	37.0	12.4

注）発生程度：甚 寄生度81以上、多 同61～80、中 同41～60、少 同1～40。

3. オオニジュウヤホシテントウ（発生量 やや多い）

発生地点率は平年並であったが、食害株率は平年よりやや高く、甚～多発生の発生程度の高いほ場が見られている。

巡回調査におけるオオニジュウヤホシテントウの発生状況

調査時期	地域	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	平均食害株率（%）
				甚	多	中	少		
7月中旬	県南	本年	20	5.0	10.0	5.0	15.0	35.0	8.2
		前年	22	0	4.5	13.6	27.3	45.5	9.6
		平年	18	1.5	2.0	2.5	27.5	33.4	5.5

注）発生程度：甚 食害株率76以上、多 同51～75、中 同26～50、少 同1～25。

県民の皆さまへのお願い
新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>

《この情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 担当：主幹専門員 及川 健
〒030-0113 青森市第二間屋町4-11-6
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
E-mail: byogaichu@pref.aomori.lg.jp

※当情報は青森県農業情報サービスネットワーク「アップル農場：<https://www.applenet.jp>」に掲載しています。